

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等				
事業毎の通番		3	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	小平六(こべいろく)		
事業概要	事業目的	H28年8月18日から19日の台風7号の接近に伴う豪雨により、渓流の土砂が下流に流出し、下流にある市道、住宅地及び県道に被害を与えた。今後の降雨により発生源及び渓流の侵食が拡大し、土砂が流出する危険性が高いので、谷止工及び流路工を整備し、流域の土砂災害の防止を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	東内郵便局1棟、人家14戸、県道174号線200m、市道100m						
	着手年度	平成29年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	3.28	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	谷止工 1個 流路工 193m			84,000	42,000	37,800	4,200
	28年度事業内容(主な工種)	谷止工 1個			26,000	13,000	11,700	1,300
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	渓流内の土砂流出を防止することで、保全対象の安全が確保される。					
		間接的効果(定量的・定性的)	地域住民の安全・安心な生活環境の保全に寄与する。					
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○人家戸数: 14戸 ○公共施設数: 3箇所(東内郵便局、県道174号線、市道) ○災害時要援護者関連施設の有無: なし ○保安林・林業用施設: 土砂流出防備保安林 100% 					評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○過去の災害履歴: H28台風豪雨による土砂流出 ○交通遮断による地域経済への影響: 県道174号が遮断の場合、国道152号への迂回が必要 ○地域防災計画上の位置付け: あり 					評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○費用便益比(B/C): 3.28 ○事業期間: 3年間(H29~H31) ○工法等の比較検討: 流路工について検討(鉄線杭、ブロック) ○流域の総合調整: 上田市、上田建設事務所と発生源対策の実施について調整済み 					評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○流域の地形、地質: 第3紀層(変質安山岩) ○平均渓床勾配(平均山腹勾配)平均渓床勾配11° ○下流の堰堤等の整備状況: あり(概ね満砂) ○山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域山地災害危険地区Aランク、土砂法指定区域 					評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業情報の共有: 関係者を中心に周知 ○地域の取り組み: 上田市が林務部長へ早期の災害復旧を要望している ○地域の合意形成: 事業目的について地域合意形成は得られている ○住民との協働: 住宅地等に流入した土砂は地元区が撤去、また既設構造物の状況確認を実施予定 					評価	B
	部意見	H28年8月に土砂が流出し、今後の降雨により再流出する恐れがある。下方に人家等があり早急に対策を行う必要がある。	行政改革課意見	流域内には不安定土が存在し、今後の降雨等により土砂流出の恐れがあるため、必要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	A

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【整備の必要性がわかる状況写真等】

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は過去にも土砂流出があり、既設の谷止工2個を施工している。平成28年8月18日の記録的豪雨(149mm/24h、38mm/h)で渓流に激しい侵食が発生し、侵食による土砂が下流の水路を閉塞して人家敷地、県道、市道に流出した。県道は上田市と松本市を結んでおり、通行止になると迂回路はあるものの物流等への影響がでる。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年8月19日に上田建設事務所より県道へ土砂流出の情報提供を受けて、上小地方事務所にて現地調査を実施した。 平成28年10月28日に上田市が林務部長へ早期の災害復旧の要望を行っている。
③事業説明等の経緯	現地調査の結果及び復旧計画を上田市、上田建設事務所に説明した。 保安林には一部指定済であり、上田市が土地所有者に事業説明をするとともに保安林の指定承諾を得ている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	谷止工、流路工及び仮設工(仮設道路)の工事では、立木伐採を必要最小限に抑える。また、谷止工、流路工の施工中は廻排水を確実にを行い、沢水の汚濁を防止する。
⑥地域活性化への影響と配慮	なし
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度

北緯	N 36-19-05
東経	E 138-14-38